

Grand Toit News

Grant W ニュース

vol. 69
Spring 2022



企画展紹介 「今も色あせない、モダンでおしゃれな夢二の魅力」
劇場事業紹介 「いわみ合唱塾ティーンズプロジェクト NEXT CHOIR ～いざ、冒険へ～」

- 特集 音楽家の引き出し、お見せします。
- 「Grant Wのおすすめ」『いつでもどこでも音楽祭』
- リレーでコラム ほか

ゴールデンウィークも
全日開館!



今も色あせない、 モダンで おしゃれな 夢二の魅力



図2
《セノオ楽譜「夢に見る君」》
大正13年(1924)

企画展「竹久夢二と乙女たち」について、展覧会担当の川西由里専門学芸員にみどころをうかがいました。

2020年春に中止になった「夢二展」、待望の復活開催ですね!

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、やむを得ず中止となった後、多くの方からとても残念だ、ぜひ見たいというお声をいただきました。ご所蔵者をはじめ関係の皆様のおかげで、再度開催の運びとなりました。心ゆくまで楽しんでもらいたいです。

あらためて、今回の展覧会の見どころをお願いします。

夢二といえば物憂い女性像(図1)を連想される方が多いと思いますが、グラフィックデザインの分野でも優れたセンスを発揮した多才なアーティストです。今回の展覧会では、本の装幀や雑誌・楽譜の表紙デザインをたくさん紹介しますよ。

これ(図2)はクラシック音楽の楽譜ですか?とってもオシャレでポップですね!

「セノオ楽譜」は、大正4年(1915)から出版がはじまった楽譜のシリーズで、合唱からオペラ、民謡まで古今東西の曲が収録されています。夢二は現在確認されているだけで270点もの表紙のデザインを手がけています。楽譜が読めなくても、部屋に飾るためについ買ってしまいそうですよね。

展覧会では「セノオ楽譜」から約60点と、「中山晋平作曲全集」全27点がズラリと並びます。これらの楽譜の曲や、詩人でもあった夢二の詩に書き下された曲を歌うコンサートも開催しますよ。

それは楽しみですね!ところで、展覧会タイトルにある「乙女」というのは、夢二が描いた女性のことですか?それとも、夢二ファンの乙女たちという意味ですか?

いい質問をありがとうございます!ここには、その両方の意味をこめています。夢二が画家としてデビューしたのは雑誌の挿絵からでした。掛軸や屏風の作品もありますが、彼が若者たちから熱狂的に支持され、人気

画家にのぼりつめたのは、出版の世界に身を置いていたからだといえます。挿絵だけでなく、千代紙や絵封筒といった小物を手がけたことも、多くのファン獲得につながりました。

展覧会では一点ものの絵画だけでなく、出版物もたくさん紹介します。作家直筆の作品に価値を置く場合、「複製芸術」である印刷物は一段低くみられることもあり、市場に出た時の価格も全然違います。ですが、夢二に夢中になった人々の多くが触れていたのは、印刷物でした。夢二自身も、出版によって全国津々浦々の人に作品が愛されることを願っていたはずですが、ですからこの展覧会の主役は作者だけでなく、作品の受け手であった「乙女たち」でもあるのです。

夢二以外の作家の作品もたくさんあるんですね。

同時代の北野恒富や池田輝方などの美人画、夢二と同じく本の装幀に才能を発揮した小村雪岱、昭和の乙女たちを魅了した中原淳一など、艶やかな作品、スタイリッシュな作品が目白押しです。中にはちょっとコワイ絵もあったりして……。江戸情緒とモダン文化が交錯する時代の華やきをお楽しみください。

TAKEHISA Yumeji and Maidens Beauty, Graphics, and Modern Life



2022
4.9 SAT
5.30 MON

【開館時間】9:30～18:00 (展示室への入場は17:30まで)
【休館日】毎週火曜日 (ただし5月3日は開館)

【観覧料】
当日券 / 一般: 1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円
大学生: 600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円
小中高生: 300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円
前売券 / 企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料
※各種障がい者手帳、被褥者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料
※前売券は、ローソン各店(Lコード63093)、Grant W総合案内カウンターでお求めになれます。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、中国新聞社
【後援】芸術文化とふれあう協議会 【特別協力】竹久夢二文学館神戸文庫有限公司
【企画協力】株式会社アートワン

島根県立石見美術館
島根県芸術文化センター「Grant W」内

竹久夢二と乙女たち

あこがれの美人、
とさめさのモダンライフ

EVENTS 関連プログラム

開幕記念スペシャルギャラリートーク

本展出品作品の所蔵者、中右瑛さん(竹久夢二文学館神戸文庫 主宰)に、コレクターならではの視点から、作品にまつわるエピソードをお話いただきます。
4月9日(土) 11:00～12:00 [会場] 展示室D
参加無料(企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要)
当日先着30名(10:30より受付)

ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

4月24日(日)、5月4日(水・祝)、5月8日(日)、5月15日(日) 14:00～15:00
[会場] 展示室D 参加無料(企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要)
当日先着30名(13:30より受付)

MUSEUM X THEATER Vol.17 詳細は「PICK UP EVENT」を参照

コンサート「夢二の見た夢、その淡い」

5月28日(土) 14:00～16:00(13:30開場)
[会場] 多目的ギャラリー

子どもWEEK!

4月29日(金・祝)～5月11日(水)は、「子どもWEEK!」につき、
小中学生は観覧無料です。
※年齢が確認できるものをご提示ください



竹久夢二(種(千代紙)) (部分) 大正時代

竹久夢二(中山晋平作曲全集「東京行進曲」表紙) (部分) 昭和5年(1930)



本番公演でのステージの様子 撮影:山口敦

島根県西部の中高生が、上手い下手を超えて、最高にハッピーな合唱団を目指す「いわみ合唱塾「ネクスト・クワイア」」。今年度は日本の合唱界で人気・実力共にトップクラスの信長貴富さんがネクスト・クワイアの為に作ってくださった曲「いざ、冒険へ」をみんなで披露しました！

「いざ、冒険へ」 ネクスト・クワイアプロジェクト

しまねカンタート2022に出演してきました！

「いざ、冒険へ」

グラントワ・カンタートの開催をきっかけに2016年に誕生した期間限定の合唱団「ネクスト・クワイア」は第5期を迎えました。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で集まって歌う事が出来ず、中止という判断をしました。どうしたら歌いたい子どもたちの気持ちに応えられるかと地元の音楽教員たちと話し合い、出てきた意見が「信長貴富先生にネクストの曲を作ってもらい来年みんなで歌いたい」でした。熱い想いが届き、結成以来の夢が叶い生れた曲が「いざ、冒険へ」。しまねカンタート2022での初演を果たすべく、12月から約1ヶ月間の練習がスタートしました。

短期間での練習

応募した41名の中には現役の合唱部員もいれば、合唱は初めてという子もいました。毎年恒例の合宿は断念し、限られた4回の練習を地元の音楽教員の皆さんが工夫をこらし、心を込めて組み立ててくださいました。初回練習時には緊張した面持ちだった参加者たちも、先生方のおかげで回を重ねる毎に楽しんで歌っている様子が見受けられました。12月12日の練習には、なんと東京から信長貴富さんと



信長貴富さんと横山琢哉さんが東京から練習に駆けつけてくれました！

本番の指揮を務めていただくプロ合唱指揮者・横山琢哉さんが駆けつけて直接指導くださり、参加者のみならず地元教員やスタッフにとっても大変貴重な経験となりました。

いざ、本番へ！

1月9日、松江で開催された「しまねカンタート2022」に参加。本番を迎えた参加者の姿はまさに「いざ、冒険へ」のタイトルがぴったりで、堂々と自信をもって歌う姿がとても印象的でした。演奏後、信長さんからの講評では「演奏内容が非常にレベルが高く素晴らしかった。何より団員の皆さんの喜びが伝わってきたのが嬉しかった」という言葉をいただきました。歌を歌いたい子どもたちの居場所としてスタートしたネクスト・クワイア。一つの目標をみんなでやり遂げる達成感や喜びを感じられる活動をこれからも続けていきたいと思えます。



演奏前の団体紹介。元気がいっぱい、客席も大盛り上がり！ 撮影:山口敦

LIFE with グラントワ

想いを繋ぐ

2019年様々なご縁から初めて「いわみダンスプロジェクト」のポスターデザイン等を担当させていただき事となり、それを機に複数回グラントワで開催されるイベントの広報物を担当させていただいています。仕事をさせていただく度にいつも感じる事があります。それは、担当者の方の「熱意」です。細部にまで気を配り、良いものを作ろうと真剣に向

き合う姿勢は、とても良い刺激になると同時に、その気持ちに応えたいという想いに自然とさせてくれます。特に「いわみダンスプロジェクト」では、長い期間をかけ、お客様を喜ばせたい、良いイベントにしたいと思つて誤差されている姿は、自然と高いモチベーションとインスピレーションを与えてくれます。

私自身も地元益田市でデザイン業を営む者の一人として、益田市の魅力は勿論の事、益田市で行われている様々な素敵なイベントにデザインという形で関わりたいと考えています。

〔フィードバック〕 大畑俊輔

PICK UP EVENT



吉川真澄(ソプラノ) 水戸見知子(ピアノ)

Museum × Theater:
ミュージア vol.17
コンサート
「夢二の見た夢、その淡い」
2022年5月28日(土)
14:00~16:00(13:30開場)
多目的ギャラリー

夢二が表紙をデザインした楽譜は、民謡から西洋音楽まで様々。気になる中身はどんな音楽でしょう？ 展示する楽譜の曲のほか、夢二が作った詩に作曲家・平野一郎氏が新たに書き下ろした曲も披露。音楽でも夢二の世界に浸ってみましょう！

【料金】全席自由・前売 一般1,500円(会員1,000円) ※当日500円増 [定員]40名
【プレイガイド】グラントワ総合案内カウンター、ローソンチケット(Lコード:63038)
※チケット発売開始日:3月26日(土) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
※無料託児サービスあり。(5月21日までに要申込)

劇・場・を・探・る



【舞台袖②】

グラントワの大・小ホール^下手側(客席から見て左側)の袖中には、目立たないように配置された事務机と椅子があります。このスペースは舞台スタッフの簡易的な待機場所として準備されたもので、資料の確認や本番合間の小休憩などに利用されています。「インカム」と呼ばれる内線用の通信機も設置されているので、ほかのスタッフからの急な呼び出しにも応じることができます。

次回は「舞台袖①」です。



POSTER GALLERY 2005▶2010

いわみ芸術劇場
公演ポスターギャラリー vol.1

グラントワが開館した2005年10月から現在まで、いわみ芸術劇場では、コンサート、オペラ、合唱、ミュージカル、演劇、ダンスなど、さまざまな公演が開催されました。これまで行われた公演のポスターをご紹介します。

※すべてのポスターは掲載していません。ご了承ください。

音楽家の引き出し、お見せします。

～ 制作の裏側をのぞいてみよう～

大口俊輔さん
インタビュー

Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



永田正彰さん

グラントワで気軽に「本物の音」を楽しもう！
『いつでもどこでも音楽祭』

グラントワでは、「誰でも気軽に」をコンセプトとし、短時間（40分程度）かつ無料で気軽に音楽を楽しめる機会として、「いつでもどこでも音楽祭」を開催しています。

3月には、川本町を拠点に地域おこし協力隊として活動しながら、音楽を用いた居場所づくりに取り組むCOZY MUSIC OFFICE代表のトロンボーン奏者・永田正彰さんにご出演いただきます。4月には、ここ石見地方を中心に音楽でまちを明るくしていこうと活動する石見音楽文化振興会の若手演奏者さんにご出演いただきます。

いろんな人が居て、本物の音を楽しめる。そんな音楽会は来場者の皆さんとともに作り上げていくものです。

今後も様々な演奏家を招いて地域の皆様を引き続き多様な鑑賞機会をお届けしていきます。どうぞお気軽にお越しください。

「春を待ち望む人」
2022年3月13日(日) 12:50～
[会場]美術館ロビー
[出演]永田正彰(トロンボーン)、嘉戸絵理香(ピアノ)

※3月以降のいつでもどこでも音楽祭の開催日時、出演団体、お申込み方法など詳しい情報は決まり次第、グラントワホームページ等でお知らせします。

音楽家の頭の引き出しには、いったいどんな素材が入っている、どうやって取り出し、組み合わせて、新しい作品を生み出しているのでしょうか？
演劇、ファッションショー、映画、TVや、益田市に本社を置くスーパーマーケット・キヌヤのPV制作など幅広い分野で活躍している音楽家・大口俊輔さんをグラントワにお迎えして、その制作過程の裏側に迫ります。

この企画はどうやって生まれたんですか？

2021年1月に目黒区美術館で、画材や素材の成り立ちや特徴を紹介する展覧会の関連イベントで「音楽家の引き出し」という講座をしたことがきっかけです。どれくらいのスピードで譜面を書くのか、とか、曲を作る際のどういった制作の流れやツールを使っているのか、とか、アコーディオンを分解したらどういう構造になっているのか、とか、そういう解剖的な内容でした。意外と皆さんそういう見たことないんです。

とっても興味深いです！音楽経験者向けの内容なんですか？

いえ、一般の人でも楽しめます。例えばのんさんが「明日があるさ」を『あまちゃん』(NHK朝ドラ)俳優陣をゲストに迎えてカバーしたMVのアレンジ作業の一幕や、ファッションデザイナー JUNYA WATANABEのパリコレのランウェイショーBGMなど、僕の過去の仕事を例に、実際に辿った制作過程を演奏や映像を交えてお話しします。僕が作ったキヌヤさんの「SUPER HELPER EBISU」のBGMの話もしようと思ってます！

パリコレからキヌヤまで幅広いんですね！

様々なクライアントさんの意向に沿いながら音楽を作ること、音楽に興味がある人だけでなく、映像、グラフィックデザイン、建築など、0から1を生み出すモノづくりをする人たちと共有できる感覚があると思います。そういう方たちにとって制作のヒントになったり、何かしら刺激をもらえるような企画にしたいです。自分で言うのもなんですがレアな内容だと思いますので(笑)ぜひ多くの人に聞いてもらえたらと思っています。



『SUPER HELPER EBISU～地域が笑顔であふれますように～』(YouTubeより)

「音楽家の引き出し、お見せします。」(仮題)
2022年6月19日(日) 14:00～ [会場]多目的ギャラリー
[料金]1,000円 [定員]30名程度
※詳しい内容は決まり次第、グラントワHP等でお知らせします。



大口俊輔 OKUCHI SHUNSUKE
作曲家/ピアニスト/
アコーディオン奏者
東京芸術大学卒業。演劇、ファッションショー、映画、絵画、TV等に多数の作曲・演奏作品を提供。

みきよ美術館に よいて



喜多村知
《滞船》
1972(昭和47年)
当館蔵

コレクション展
「石見ゆかりの洋画家たち」
4月13日(水)～6月20日(月)
会場:展示室A

コレクション展「石見ゆかりの洋画家たち」について、担当学芸員の左近充直美さんにきいてみました。

Q1. 石見ゆかりの洋画家たちとは、どんな人たちですか？

山崎修二や寺戸恒晴など、石見地域出身で戦後の島根洋画壇を牽引した画家たちを中心に紹介します。また、石見出身者に限らず、日本海や山村など山陰の風景を描いている作家、例えば島根とゆかりの深い喜多村知や、来益した須田国太郎の作品も展示します。

Q2. みどころはどんなところですか？

海沿いの風景は画家によって描き方に特徴があり興味深いです。喜多村知のノスタルジックな空気感漂う風景に対して、寺戸恒晴の描く海の色は「寺戸ブルー」と呼ばれる青が魅力です。令和3年度に寄贈となった寺戸恒晴の油彩画数点が、本展初公開となります。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

非常勤職員 的野克之

中央に穴の開けられた扇面形の象牙の薄い板の左右に忍草をこまかく描き込み、中央の余白が小さな文字でびっしりと埋められています。

これは根付と呼ばれるもので、和服を着た男性が提物という物入れを帯にぶら下げる際に落ちないように付けたいわゆるストッパーです。木の切れ端でもいいのですが、人と違う形の物を付けておしゃれを楽しみました。

造ったのは最後の2行目に記されている巖水。現在の江津市



巖水

《石見根付 扇面に忍草》
江戸時代末 19世紀 当館蔵

周辺に根付を造る職人が数多く住み、石見根付と呼ばれる作品を造っていましたが、巖水もその一人です。

最初の6行は百人一首河原左大臣「みちのくのしのぶもぢずり～」の歌。絵も文字も細かく、まさに超絶技巧の技です。昔の持ち主が自慢げに見せびらかせている姿が目に見えます。

いわみ芸術劇場
大ホール・小ホール

耐震改修工事のお知らせ

国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、いわみ芸術劇場大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

工事期間 現在工事中～
2023年4月末まで

※工事期間は予定です。工事状況ほか諸事情により変更になる場合があります。 ※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。 ※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。

石見美術館コレクション展

コレクション展
日本絵画にみる
中国への憧れ
4月11日(月)まで開催中
日本絵画は古来より、中国文化から大きな影響を受けてきました。本展では室町時代以降の作品を展示し、中国文化との関わりを紹介します。

展示室A

コレクション展
石見ゆかりの洋画家たち
4月13日(水)～6月20日(月)
※「美術館にきてみよう」参照

山本葉谷(遊魚図) 1846年

コレクション展
宮芳平の詩と芸術
3月12日(土)～4月25日(月)

コレクション展
かたちを描く
抽象的に/具象的に
4月28日(木)～6月20日(月)

展示室C

岩本拓郎(無題) 1979年

メンテナンスのため
閉室していた
展示室Bでの
展示が再開しました。

コレクション展
「みる」をめぐる
3月16日(水)～4月25日(月)
描く対象を「細かくみる」、心に広がる情景を「よくみて」描き出すなど、「みる」ことに焦点をあててコレクションを紹介。

展示室B

コレクション展
根付 超絶技巧!
4月27日(水)～6月20日(月)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

宮芳平(黒百合) 1934年

ミニ観にレビュー 世代的にも(漫画など)ドンピシャの内容だったので懐かしさも含めて楽しめました。昔の美男図などは全く知識がなかったのですが、描かれた題材や背景を読み取ることができて、とてもよかったです。(50代 女性/企画展「美男におやす」)ととても感動しました。お人形の歴史もわかっておもしろかったです。約1年半グラントワで観れないのはとてもさみしいです。身体に気を付けて頑張ってくださいね。(50代 女性/「益田系操り人形グラントワ定期公演」)・学生時代お世話になった方々のコンサートを益田で拝聴できてとても嬉しかったです。アンサンブルっていいなとまた思い出させてくれて本当に素敵な演奏でした。また機会あればうれしいです!(20代 女性/いつでもどこでも音楽祭「弦楽トリオクリスマスコンサート」)

Grand Toit & / リレーでコラム 3

仲西 透 (いわみ芸術劇場文化事業課長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第3回は、文化事業課長・仲西透さんです。

グラントワで働きだしてからもうすぐ丸3年になります。私の部署は劇場部門ですが、同じ職場内に美術館があるというのはやはりとても贅沢なこと。休みの日にまだ小さい我が家の子どもと一緒に美術館に出かける事がありますが、そんな時、よく父のことを思い出します。

父は青春時代に絵描きを志すも、昭和30年代の話ゆえ「そんな事で飯が喰えるか」と周囲から猛反対を受け、美術教師の道に進みました。その後も洋画会に所属し、今でも絵を描き続けています。自宅に別棟のアトリエがあり、若い頃はよく友人や同僚を呼んで酒席が開かれ、子どもだった兄や私もそこに交じって一緒に食事を取りました。父は酔うと決まって壁に並んだ自分の絵を指し、「どの絵が好きか」と子どもたちに聞いてきました。絵の良し悪しはよく分か

りませんが、なんとなく気に入った絵を選ぶと、「そうかそうか」と楽しそうに笑っていたことをよく憶えています。休日には、美術館にもよく家族で出かけていたので、そうした幼少期の日常の中に自分の芸術の原体験があったのだろうと改めて感じます。

グラントワには、美術館にも劇場にも、大勢の子どもたちが訪れています。ここに来た子ども達もなにかを感じるのか、10年後20年後に、ここで観たことをどんな風に振り返るのか、とても楽しみに思う今日この頃です。



今回は南目美輝さん(石見美術館 学芸課長)の予定です。

報告します!

企画展「美男におわす」
関連プログラム
ワークショップ「美男画を描いてみよう」開催



ワークショップの様子

2022年1月8日(土)に企画展の関連事業として開催されました。益田市出身で本展覧会にも作品を出品しているイラストレーターの乃希さんを講師に、小学生から大人まで幅広い世代の方が参加しました。

はじめに人体を描くコツや基本的なアタリの付け方、身体のバランス、骨格から肉付けをする身体の描き方など、配られた資料を基に乃希さんから説明を受けました。その後、参加者が実際に描く中で、耳の位置や首の位置など描いていてつまずくところは乃希さんから直接アドバイスをもらいながら、各自思いの美男画制作に取り組みました。

参加者の感想

とても良かったです。かなり前から自分の描く首が気に入らなくて、今回乃希さんに教えていただけて良かったなと思いました。

(益田市・女性)

第30回しまね映画祭
出張上映会を開催しました!



「ふれあいホールみと」会場 左側の垂れ幕が目立っています!

自然豊かな美都町にある「ふれあいホールみと」に、グラントワが所有する再生デッキを持ち込み、グラントワシアター出張上映会を開催しました。

大スクリーンと優れた音響で映画を楽しもうとたくさんの家族連れなどが集いました。

地方で劇場上映することで、隣人が集い何かを分かち合う機会になれば幸いです。

Meetup! 石見「まちと福祉と芸術文化」についての

オープンミーティング#02開催



当日の様子

地域で障がい者の芸術文化活動に取り組んでいる方や関心のある方の繋がりづくりの場としてのオープンミーティングを11月27日に川登芸術村で開催しました。様々な業種と地域から32名の参加者が集いました。参加者同士のディスカッションや、音楽療法「音絵」のワーク体験を通じてジャンルを超えた交流の場となりました。

ご来館の皆様へ

新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止のため
ご協力をお願いいたします。

- ◎マスク等の着用
- ◎美術館・公演会場などへ入場前の検温・手指消毒
※37.5度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合があります。
- ◎緊急連絡先などのご記入

発熱、咳等の症状のある方、体調不良の方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴のある方は、ご来館をお控えください。

INFORMATION

■開館(利用)時間

※グラントワは8:45から開館

石見美術館 9:30~18:00

(展示室への入場は開館30分前まで)

いわみ芸術劇場 9:00~22:00

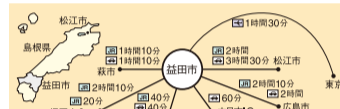
■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)

※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館 毎週火曜日、年末年始

いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始

※2022年5月3日(火)は臨時開館



交通案内

- ◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
- ◎JR益田駅から徒歩15分
- ◎駅・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
- ◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
- ◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 益田市有明町5-15

TEL: 0856-31-1860(代表)

FAX: 0856-31-1884(代表)

e-mail: zaidan@grandtoit.jp

www.grandtoit.jp

大ホール・小ホールは

2023年4月末(予定)まで休館中

石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用いただけます。

グラントワ通への道

Q. 美術館の中で写真の撮影ってできるんですか?

A. 著作権保護の観点やフラッシュ光による作品へのダメージ、他のお客様の鑑賞の妨げになることなどから、美術館内での写真撮影は基本的にご遠慮いただいています。ただし「撮影可能」の表示がある作品については、フラッシュ無しで撮影していただくことができます。



読者プレゼント

石見美術館 企画展
「竹久夢二と乙女たち」
招待券をペア10組様に
プレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、3月25日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかで応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.69 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

大切なゲストに開かれて、グラントワならではの特別な日。心温まるおもてなし料理をはじめ、お一人らしいウエイティングパーティを叶えます。ご家族だけのささやかな会食から、友人を呼んで盛大な披露宴まで、ご要望に応じて承ります。

Pony's Wedding Plan

ポニイ ウェディングプラン

着席フルコース料理

対応人数 レストラン使用の場合...20名~
多目的ギャラリー使用の場合...30名~

※料金、最大対応人数はお問い合わせください。
※会場はレストランまたは多目的ギャラリーのいずれかになります。
※装花・会場コーディネート等、オプション対応も可能です。(料金別途)

Restaurant **Pony**

■営業時間 / 11:00~22:00
※イベントにより変更あり夜は予約のみ

■店休日 / 不定休

■TEL / 0856-31-1873

www.restaurant-pony.com/

エコバッグ

1,800円(税込)

キャンパス生地で作られたとても丈夫なエコバッグは、肩掛け・斜め掛けのどちらでもできる2wayタイプ仕様。ショップでお買い物した図録やグッズなどを入れたり、書類やパソコンを持ち運んだり、様々なシーンで活躍すること間違い無し。当店だけが買えないオリジナルのエコバッグ、グラントワ美術館の記念やプレゼントにもおすすめです! ※バッグの中の商品は含まれません。

企画展「竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ」にちなんで関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。

2022 4.9 SAT ▶ 5.30 MON

MUSEUM SHOP con amore

www.grandtoit.jp/shop/

石見美術館 ミュージアム パスポート

一般(税込) 3,000円
大学生(税込) 1,800円
小中高生(税込) 900円

石見美術館の企画展とコレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

特典

- 提携美術館®の観覧料割引
※県内外18施設(2022年2月現在)
- グラントワ提携店での優待サービス
- 「石見美術館ニュースレター」等のお届け
- 更新後の有効期間を一カ月間延長!

グラントワ提携店をご存知ですか?

グラントワ会員の特典として、グラントワ提携店(全30店舗:2022年2月現在)での優待サービスを受けられます。商品や食事の割引、プレゼントなど、提携店ごとに異なる様々なサービスをご用意しています。ご利用方法は、店頭で会員カードを提示するだけ。ぜひ、お得がいっぱいのグラントワ提携店へお出かけください!

提携店の場所や詳しい内容は、WEBサイトでチェック!

www.grandtoit.jp/tieup/shop.html

2022イベント スケジュール 好評配布中!

2022 EVENT SCHEDULE

2022年度に行われる石見美術館の展覧会やいわみ芸術劇場の取り組みなど情報を手にいれよう!
※グラントワ館内、全国の提携美術館・主要文化施設などで配布しています。
※新型コロナウイルス感染症の影響等で、掲載内容に変更が生じる場合があります。

グラントワのイベントスケジュールはHPからもご覧いただけます。
www.grandtoit.jp/schedule/

Facebook やってます!

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や「いわみ芸術劇場」で開催されるオペラ、コンサート、映画などの情報をはじめ「グラントワ」で行われる様々なイベントや耳より情報をいち早くお届けします。

www.facebook.com/grandtoit.jp